がんばった運動会！

双葉保育園の運動会が９月10日（日）に中央生活改善センターで行われました。園児達は、この日のために友達と協力してダンスや、早く走る練習を重ねてきました。当日は、あいにくの雨のため室内での競技となりましたが、お父さん、お母さんから「頑張れー！」の掛け声に一生懸命取り組む姿がとてもかわいらしく印象的でした。

応急危険度判定を締結

幌加内町と北海道建築士会北空知支部（支部長岩渕賢二）は９月１日（金）付けで災害時応急危険度判定活動連携協定を結びました。この協定は、地震災害が本町で発生した際に、同支部が避難施設や医療施設等すべての建物が倒壊の恐れがないか危険度の判定を行うことを目的とした協定となっています。

幌加内町地域おこし協力隊から

プロフィール
佐々木祥信
札幌育ちの54歳
可愛い奥さんがひとり
趣味多彩

はじめに：地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、役場など地方公共団体が委嘱。隊員は一定の期間、地域に居住して、地場産業や観光資源などを広く世の中に情報発信したり、住民の生活支援など行います。その業務は地域の実情により、さまざまです。

ご挨拶

はじめまして。8月1日から幌加内町民になりました佐々木です。幌加内町には、何十年も前に朱鞠内湖へ来て、湖畔でキャンプをしました。自然の豊かなことや、日本一の寒さを記録したということは知っていましたが、ソバの生産量が日本一というのは最近知りました。それまでは、ソバといえば長野県や行きつけのおそば屋さんのことが思い浮かんでいました。ごめんなさい、町の皆さん。

かねてから、「だれもが孤立せずにお互いに支え合う福祉のまちづくり」に興味があり、仕事はケアマネジャーや学童クラブ指導員など行いながら、ボランティアで障がいのある方の支援や、ご近所の方々の困りごと相談までいろいろと活動していました。札幌という都市圏にいながら、地方のまちの話題も常に気にしていた私に、たまたま「幌加内町地域おこし協力隊募集！福祉関連の経験者集まれ～！」という情報に気づき、すぐに役場へ話を聞きに来て、その時は酷く暑い日だったのですが、すごーく広い公園で素晴らしい笑顔で遊ぶ園児や優しい保育士さんを見かけて「厳しい冬があるからこそ、この日、この時間が愛おしい」のだと、しみじみ感じました。ここに来よう、もし役場から断られても、何か別な形でも関わりたい。決めた。ここで暮らそう……（安易な）

久々の単身赴任の生活

やっぱり男子ですから、家事は上手ではないと思いますが、苦手ではありません。自分の好きな食材で、自分の好きな味付けで、自分の好きな量を食べる！　これを続けると生活習慣病にまっしぐらな感じなので、なるべくバランス良い食事を心がけています。

町で暮らすにあたって、不便さは感じていません。商店が夜早い時間に閉まってしまうのは不便なのかもしれませんが、私は「明日買うからいいさ」という考えが先に出てくるので、引っ越し当初から気になりませんでした。

夜空は星でいっぱいだったんだ！

ずいぶん、都会に長く暮らしてたふうな言い方ですが、私のいた中央区はビルやらマンションが立ち並んで、夜は明るいですし、幌加内町と同じ満天の星空が広がっているのでしょうけれど…見えない。だけど綺麗なお月さまは同じく見てました。しかし、本当に星の存在を忘れてました。「どうせ見えないから見ない」ということを繰り返しているうちに星を見ない、夜空を見上げなくなってしまった私でした。これもある意味、生活習慣病でしょうか。その病？を一気に治してくれたのは、ここ幌加内町の自然環境と町並みの調和です。

「人に自然にやさしい故郷づくり」をめざす幌加内町。私はここで、社会福祉協議会に配属となって、頑張っております。皆さんこれからもよろしくお願いいたします。

一日警察署長が呼びかけ

９月21日（木）から30日（土）まで「秋の全国交通安全運動」に併せ、士別警察署で一日警察署長の任命を受けた北海道観光大使の「青山千景さん」が28日（木）に本町を訪れ、交通事故防止を呼びかけました。

本事業は、士別警察署が主催、旭川地区トラック協会士別支部が協賛で行われ、事故防止の啓発ポスターや反射材を交通安全推進委員会会長でもある細川町長へ手渡されました。

母子里と出会う旅

母子里と出会う旅（実行委主催）が9月23、24日の両日、母子里地区を舞台に開催されました。

本事業は、平成26年に開始してから今回で5回目となり、一般参加者、スタッフ合わせて70名以上が参加。バーベキュー大会で打ち解けあった参加者は、満天の星空の下、バスに乗り母子里の森を探検。北大雨龍研究林の職員から野生動物の生態系などについて話を聞きながら動物たちを探索した一行は、道中、ライトで目がキラキラと反射した動物たちの姿を見つけると「きつねがいた！」、「こっちには鹿がたくさんいる！」と大盛り上がり。翌日には、雲海の見学やバードウォッチングなどで大自然を満喫しました。実行委員会委員長の渡来正幸さんは、「母子里を知ってもらえる良い機会で、これからも続けていきたい」と話していました。

各自治区・特別養護老人ホームで敬老会　長寿を祝う！

町内の75歳以上の方々が健やかにご長寿を迎えられたことをお祝いする「敬老会」が、８月７日（月）の下幌加内自治区を皮切りに、９月９日（土）は添牛内自治区、10日（日）は朱鞠内自治区、16日（土）は幌加内自治区など各自治地区で開催されました。また特別養護老人ホーム「テルケア」でも９月８日（金）に開催されました。

長年にわたり、幌加内町のために力を尽くしてこられた方々に敬意を表するとともに、これからもご長寿の皆さまが、日々健康で楽しく毎日過ごされることを願っています。

幌加内自治区敬老会

朱鞠内自治区敬老会

テルケア敬老会　※テルケア提供

朱鞠内小学校 受け継がれる歴史

朱鞠内小学校開校百周年記念事業協賛会（会長：谷川優）は、大正７年９月の開校から百年を迎えた朱鞠内小学校の記念式典を10月１日（日）に開催しました。

谷川会長は「式典の開催にあたり、３年前から準備等ご尽力いただきました各校長先生をはじめ、教職員の皆さま、地域の皆さまのご協力に心からお礼を申し上げます。」と式辞を述べられました。また細川町長より「朱鞠内小学校の卒業生は、1700人を超え、社会のあらゆるところで立派に活躍されている姿に誇らしく思います。伝統に輝く朱鞠内小学校の心豊かに育つ教育の場になることをこれからも望みます。」と祝辞が贈られました。その後、全員で校歌を斉唱し、祝賀会では昔の思い出話しに花を咲かせていました。

大通り一丁目町内会 全戸避難訓練

９月30日（土）、幌加内自治区・役場総務課防災係が共催し、大通り一丁目町内会を対象にした避難訓練を実施しました。

当日のシナリオは、昨晩からの大雨の影響により、雨竜川が増水、気象庁より土砂災害情報や大雨特別警報が発令されたと仮定した訓練で、役場からIP告知端末機で、「避難指示」を発令し避難を呼びかけ、37名の方が公民館１階の和室に避難しました。

避難完了後、避難方法や改善点、備蓄品の要望などアンケートを実施し、その後、避難所での災害食を体験していただきました。

災害はいつ襲ってくるかわかりません。日頃から家族で、職場で、地域で話し合って、防災意識を高めましょう。

ゆるキャラグランプリ 2017 投票開催中！

今年も幌加内町のイメージキャラクター「ほろみん」がゆるきゃらグランプリにエントリーしています。投票は11月10日（金）18時まで行われ、毎日１人１票を投票できますので、幌加内町のために大奮闘するほろみんに、皆さまの応援をよろしくお願い致します。

カップそば 販売開始のお知らせ

幌加内町の新たな特産品開発の一環として試作した、幌加内そばの里大使上杉氏監修のカップそばを昨年、町民の皆さまにもご賞味いただいておりましたが、大変好評であったことから、この度、９月２日（土）より新パッケージにて製品化及び販売を開始いたしました。

上杉氏作詞・作曲の幌加内町応援ソング「ソウルソゥバッ！」のＣＤつきプレミアムカップそばも数量限定で販売を開始しております。

カップそばは下記店舗にて取扱っておりますので、この機会に是非お買い求めください。

◆取扱店
- 道の駅物産館　・せいわ温泉ルオント
- 有限会社丸メ川嶋商店

◆価　格

ＣＤつきプレミアムカップそば
1,080円（税込み）

カップそば　540円（税込み）

◆販売元
- 株式会社ほろかない振興公社

※新パッケージ